

コミセン花壇に絵が届きました！

今年も鳶巣幼稚園児さんから鳶巣コミュニティーセンターの花壇に飾る「絵」が届きました。この絵には、一人ひとりの顔が描かれています。

来館者の皆さんは、花壇の前で立ち止まって微笑んで見えています。思わずほっこり笑顔になれる素敵なスポットとなっています。



世代間交流事業「お作法教室」

5月13日（火）、鳶巣地区社会福祉協議会主催の「お作法教室」がありました。

今年の園児数は7人と少ないですが、年中・年長さんは、作法をよく覚えており、お兄さんお姉さんとして上手に振舞っていました。

また、鳶巣地区の5人のスタッフさんがあたたかく見守り、たくさん褒めてもらい嬉しそうでした。

一人ひとりが主役になれるお作法教室です。



スポーツ吹き矢・健康マージャン交流

5月21日（水）、県立大学看護学科3年生で、保健師の資格取得をめざす6人の学生が、鳶巣の皆さんと「スポーツ吹き矢」「健康マージャン」で交流しました。

学生の皆さんは、「初めての経験であったが、年齢や体力に応じたスポーツやゲームなどをとおして、認知症予防や介護予防に繋がっていることを実感できた」と、嬉しそうでした。



グリーンカーテン設置

5月15日（木）、今年も鳶巣コミセン事務室前の花壇に、環境・花づくり部のメンバー10人でグリーンカーテンが設置されました。

地球温暖化の影響で夏の暑さが大変厳しくなっていますが、グリーンカーテンが上手く成長して、事務室内が少しでも涼しくなることを期待しています。ありがとうございました。



戦国の山城 鳶ヶ巣城（4）～ふるさと鳶巣物語から～

鳶巣の文化財

1569年（永禄12年）、出雲国の奪回を目指す尼子再興軍（山中鹿之助らが尼子勝久を擁して蜂起した軍）が、島根半島から上陸し、毛利方の城となっていた月山富田城への攻撃を始めます。この時も、鳶ヶ巣城は尼子攻めの拠点のひとつとなりました。それは、鳶ヶ巣城が日本海に面した杵築港から内陸港の平田に向かう物資が通過する重要拠点であったからだと思います。こうしたことから、毛利元就（もうりもとより）は、鳶ヶ巣山の山麓に広大な駐屯空間を増築したり、兵站機能（武器の修理や食料補給機能）を充実させたりしました。

1571年（元亀2年）毛利軍は、尼子方の出雲西部の拠点である高瀬城（斐川町）の米原綱寛（よねはらつなひろ）を攻め降伏させたり、尼子再興軍の拠点となった松江の新山城（真山城）から退却させたりなどし、尼子再興軍を出雲国から一掃しました。

1582年（天正10年）、城主となった宍道隆慶（しんじたかよし）の子政慶（まさよし）による鳶ヶ巣城の改築が完成します。しかしながら、1600年（慶長5年）の関ヶ原の戦いで西軍が敗れ、総大将であった毛利輝元（もうりてるもと）の領地が周防と長門に縮小されたことから、宍道政慶も毛利氏に随行し萩に行くことになりました。

城主を失った鳶ヶ巣城は、自然廃城となっていきました。【鳶巣の歴史を語ろう会】